



派遣研修等で新規就農を応援してくれる農業者に感謝

令和6年
新春

目標を明確に日々一歩ずつ

研修農場新聞

新年特別号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

新年明けましておめでとございます。研修農場では新規就農者育成に精一杯努めてまいります。本年も関係する皆様方のご支援・協力を宜しくお願い申し上げます。

新規就農までの思い

新年を迎え、研修生達は新たな気持ちでそれぞれの目標に向けて取り組んでいる。2年生は残すところ3ヵ月弱。この間、就農モデルの実践や農家派遣研修など様々な就農準備をしてきているが、今も将来への期待と不安が交錯している状況。1年生は昨年の秋から派遣研修がはじまり、就農イメージを膨らませることができ、今は自分の就農モデルの実践に向けて、畑や苗つくり等に注力している。

農家派遣研修では都内約40戸の農家さんとの協力を得て、様々な営農技術や助言等をいただき、より逞しく育てていただいたことに深く感謝いたします。

そうした研修生に①今年度の夏から年末までの感想や特に学んだこと、②令和6年の抱負等を聞いたので、その一部を紹介したい。

2年生の今

雨宮さん：①野菜栽培は子育てと同じと実感。作物の特性を知り、伸び伸びと成長できるようにサポートしてあげる事。また生育ステージによって優しく育てる時期と厳しく育てる時期などを与え、強く逞しく育つ事を学んだ。

②しっかりと準備し、スムーズに就農できるようにする。初心を忘れず、心身共に無理せず、営農を楽しむ余裕を持つように心掛ける。

関さん：①営農時の作物の実証栽培が行え、作物への理解をより深めることができた。栽培技術だけでなく、販売や機械など多くのことを学べて良かった。派遣研修では、将来栽培する大根生産等の実感が学べ、将来の経営に役立てたい。

②就農開始が上手くいくように着実に準備を進めたい。一人での営農は大変だが、前向きに一步一步農家として着実に成長していきたい。安定出荷をして信頼を得る。より地域に溶け込むなど。

高見さん：①自然相手に計画通りにいかないことを痛感。夏の猛暑や鳥害、時期はずれの暖かさなどで狙ったタイミングに収穫できないこと等。

②4月から農家として独立するので、まずは健康に気をつけ、野菜栽培・販売をし、地域から少しでも早く認められるよう努力する。

玉川さん：①将来、主力品目となる作物の仕立て方や管理方法の技術が習得できた。一人で作業したこと、収穫・荷造りの大変さを改めて実感。何事にも準備が一番大切だと学んだ。作業は前日に計画することで当日ムラなく行動できた。

②4月から母島へ移住＆就農を開始する。大事な一年目をアカデミーで培った知識・技術・心構えで全力で楽しみたい。

中村さん：①一日一日がとても濃く、充実した日々であった。苦手だったトラクターも、大型特殊免許を取得でき、公道を走れるようになったことが嬉しい。農業は作物を作って売るだけではないこと。アカデミーでは、すぐに誰かが助けてくれるが、就農後はそうはいかない。マイナスの時もプラスになる工夫をして、前向きに進んでいきたい。

②経営者としての自覚・覚悟・責任を持つ！初年売上目標500万円を目指す！

2年生の不安や課題等では、資金計画と資金繰り。新しい土地での安定生産・出荷。秀品率の向上。販路調整、B品の販売先など。より精度を高めると就農直前での不安も尽きない。皆同じ気持ちなので、情報交換を図りながら、健康第一に、一つずつクリアしていこう。



昨年末の大直売会前に、皆いっしょ笑顔

1年生の今

磯田さん：何も知識のないところから始めた夏作はとにかく覚えなければならなかったことが多くて苦労した。派遣研修では農家の実感を

体感し、知識・技術・作業効率の向上に一層努めなくてはならないと再認識。

②就農後の堅実な経営を目指すため、就農前の一年間は敗戦を恐れられない挑戦の年にしたい。同時に、円滑に就農のスタートが切れるようにしっかりと準備を進めていきたい。

加藤さん：①夏・秋冬野菜の栽培を経験し、指導員からも多くの知識を教えてもらい、年間の栽培イメージを把握することができた。派遣研修では、就農に向けて参考になる情報を農家さんから教えてもらった。

②2年次では、1年次に経験してきたことを主体的に実践できるように、3月までにこれまで得た情報を改めて整理し、4月からすべきことを一つひとつ着実に実践していきたい。

熊川さん：①派遣研修がはじまり、様々な経営スタイルや想い、農業技術や歴史、周囲の環境やその適応方法、農業の厳しさや難しさにも触れ、多くのことを学ばせて頂き、日々充実していた。

②今後は、これまで学んできたことを基に自分自身の経営についてよく考え、より実現性の高い将来計画を構築していきたい。応援してくださる農家さんやアカデミーの皆様のご支援や声援にお応えできるようこれからも日々精進していく。

佐藤さん：①9月から農家派遣研修が始まり、一口に農家さんといってもスーパー

10～12月の主な出来事

(10月)

- ・3～7日 東京アグリパーク直売、5日 板橋区農業委員会来所
- ・11日 大島支庁来所、12日 幕張メッセ、16日 大特免許試験
- ・24～26日 財団職場体験、28日 財団フェア、31日 八王子農地調整
- ・フードバンク提供 4、6、13、20、23、25、27日

(11月)

- ・2日 東京農業PTツアー、8日 東京農大来所、9日 小笠原支庁来所
- ・14日 交通安全講習、19日 交通会館直売、21日 農水部長視察
- ・28～30日 中学生職場体験、29日 調整区域農業委員会等視察
- ・フードバンク提供 1、7、13、17、22、24、27日

(12月)

- ・4日 立川農家視察、5日 西多摩野菜生産団体連絡協議会視察
- ・8～9日 実地選考、13日 東山農地調整、14日 多摩青果出荷調整
- ・21日 面接選考、20日 年末大直売、25～1/4日 研修冬休み
- ・フードバンク提供 1、8、11、15、22、25、27日

や直売所への販売、体験農園など本当に様々な営農スタイルがあることを知り、自分の営農スタイルを考えた。また、地域の農家さんとの繋がりを持てた事は何よりの宝となった。

②自分の就農後のスタイルが頭の中で少しイメージできた段階。令和6年は圃場での作業はもちろん、就農に向けた営業活動も主体的に考えどんな行動して、「できる」という自信を深める一年にしていきたい。

横山さん…①農業経営を行う上で重要なことは、売り先を考えてから作物を栽培すること。どれだけ良い作物を作っても、売れなければ経営は持続できないということを学んだ。そのため作付計画も売り先をイメージしながら立てていきたい。

②就農後は一人で作業をすることにになるので、この一年では一人で作業をするためにはどうすればいいかを常に考えながら作業を実施していく。また、売り先は畑からの距離が近い場所・一回の配送で多くのものを出荷できるなど、配送コストも考えて売り先や品目を決めていきたい。

1年生の主な不安や課題等では、農地の確保、売り先

の確保、就農後の土づくりや生産、設備の構築、広報活動の開始、資金の確保、認定新規就農者の早期取得など。また、曖昧な点を出るだけ解消することや自分から積極的に動くことで不安を軽減したい。効率的な時間の使い方、そして就農する地域の方々との繋がりを深めていきたい等々。

一年生も就農に向けての課題などが明確になりつつあり、それぞれの課題に向けて本腰を入れて取り組んでいく年にしたい。

研修生へのアドバイス

異業種から2年間の研修で農家になることは大変なこと。しかし単に5年間研修をすれば大丈夫ということでもない。要はどのような理念(思い)で農業を行うのか?そのためのノウハウを幅広く学び、応用も含め自ら責任をもってトライしてやるのが大切。切磋琢磨し合える同期や先輩後輩とも情報交換を図りながら、自分の将来を見据え、「6W3H」①なぜ②何を③誰が④誰に⑤いつ⑥どこで⑦どのように⑧いくらで⑨どれだけ、といった視点で軌道修正しながら夢の実現に向けて大いにチャレンジしていきましょう。

これまでの天候

この百年で東京の平均気温は約2.5℃上昇してきている。昨年は日本の平均気温が過去最高を記録。夏日は11月上旬まで続き、寒暖差はあったものの10月から11月上旬までの八王子の平均気温は約1℃、その後も約0.5℃高く推移した。この3ヶ月の降水量は平年より少なく、日照時間も多くなった。なお、今後も暖冬傾向が予想されているが、逆に突然の寒波にも注意が必要。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください!フォローもよろしくお願いします!

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。








研修農場 スナップ

2023年 10~12月



令和5年も野菜の生産・販売研修等 よく頑張りました♪

野菜を作るだけなら趣味の世界。経営的には「どのように作って、何時、何処へ、誰に、何を、どんな風に、いくらで売る等」の感覚が大切。暑中、そうした一面を体感してきた。時には財団職員や中学生の職場体験もありましたが、大変な時も笑顔で収穫、荷造り、接客販売など、皆さんとても頑張っており、達成感も滲んでいた。



研修生募集にあたり今年度は現地説明会を6回開催 (圃場見学の様子)



収穫祭では立川から理事ほか3名参加。今年の作物や研修生の状況報告など充実した座談会となった



外部講師の講義を真剣に聞く研修生



府中運転免許試験場にて大特(農耕用)全員合格



※今年度も研修農場へ多くの方々が来場いただきました。また私たちが指導や助言をいただき、本当にありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



調整区域を持つ自治体の農業委員会の方々と研修生との意見交換会の様子



谷あいにあるトマトハウスはこの時期に日照不足となるため、冬期からLED補光を導入



都庁職員食堂でのランチメニュー
今年度第3弾 12月には研修農場の採りたて「アズキ、キャベツ、秋キャカ、ニンジン、サツマイモ」を使用したメニューが都庁食堂で提供